西脇ライオンズクラブ
国際協会335-D 地区3R-2Z

NISHIWAKI

Lions Club News

●会長テーマ
—奉仕のエネルギーを次の世代へ—

Vol.52 No.2 2013.8.20発行

会長あいさつ

L 朝井　聰

7月27日から30日までYCE生6名とYCE委員長L大瀬良と共に、富良野に4日間滞在しました。

その間、富良野ライオンズクラブ会長L水間英文と教育YCE委員長L野呂宏子を始めメンバーの方々、ホストを引き受けていただいた4家族の皆様の深い配慮の行き届いた対応には、感謝と申し訳の無さから頭が下がりました。

ただ、先方でも、YCE生の募集とホストファミリーの依頼には結構ご苦労をされているようです。

ホストファミリーについての対応は、それぞれのクラブにおいて再考する必要があるように思います。

YCE生の募集についても、受け入れの前年度には、見学の場所なども含めた行程を写真なども用いて具体的に提案を行うことで、YCE生も集めやすくなると思います。

子供達にとっては、知らない家庭で何日か過ごすこと、大自然や古い文化に接することは、とても良い体験となるので、今後もこの事業は継続することが望ましいと思います。

藤井　啓太 君

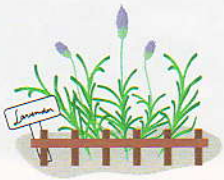
北海道は楽しいことがいっぱいありました。はじめホームステイの人とあった時は、緊張しました。だけどもうバーベキューの時には仲良くなって、安心しました。

2日目は、旭山動物園で、色々な動物と出会いました。シロクマとかアザラシは、ちがう方向から見たりできておもしろかったです。

3日目は、一番楽しみにしていたラフティングがありました。はじめは心配だったけど、段差みたいなところを下るときはすごく楽しかったです。深い所で水に流されたときは、冷たかったけど、気持ちよかったです。お昼は、ジンギスカンを食べました。すごくおいしくて、やわらかかったです。へそおどりでは、おどったことがないぐらいおどってすごくつかれました。

4日目は、ガラス細工をつくったりして、楽しかったです。別れるときはさみしかったけど、最高に楽しい4日間でした。また、北海道に行きたいし、ホームステイの人とも会いたいです。ホームステイ先の森田家のみな様、大変よくしていただき、楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございました。

又、ライオンズクラブの会長様をはじめ、みな様たくさんのすばらしい思い出を作らせていただきました。ありがとうございます。



松原　和 さん

私は、北海道富良野市でとても楽しかったことが二つあります。

一つ目は、ラフティングです。段差をくだると揺れたり水がかかったりしてすごく楽しかったです。最後のところは、岩がたくさんあって斜面だったのですごくスリルを味わうことができました。

二つ目は、へそ祭りのへそ踊りです。顔にペインティングしてもらい、法被を着ました。その前に女神輿をしていたので、踊りを覚える時間が少なかったので、覚えてないまま本番になりました。どうしようと思っていると同じ列の子が「私の踊りを見ながらやってみて」と言ってくれました。なんとか最後まで踊ることができたので、すごく達成感がありました。

ホストファミリーの方々はすごくやさしくしてくださったので、早く打ち解けることができました。

この3泊4日間、富良野市で過ごさせていただいて、自然がいっぱいで、楽しい行事もいっぱいで、笑顔もいっぱいの町ということがわかりました。

藤井　竣平 君

富良野の思い出

富良野に交かんりゅう学生として、はけんされることがきまってから、最初の方は知らないおうちにとまることやいっしょにいくメンバーが日野地区の人ばっかりだったので、楽しみというよりは不安でした。一つだけ、習っているスイミングを4日もやすめるのでラッキーだなと思いました。けれど出発の日の朝、バスのなかでぼくからしゃべりかけてどんどん仲良くなっていきました。そしてもう飛行機の中では、前から友達だったみたいになりました。富良野についたら、ホームステイ先の家で用意をしてすぐウェルカムパーティーに行きました。ジンギスカンが美味しかったです。ぼくが一番たのしかったのはへそおどりです。おなかに顔をかいたときとてもこしょばかったです。またきかいがあれば富良野に行きたいです。

高木　省吾 君

ホームステイ先にて

7月27日から3泊4日で北海道富良野市へホームステイさせていただき西脇ライオンズクラブのみなさまありがとうございました。

このホームステイでは、新しいお友達ができたことがとくによかったです。ぼくの中では、3日目に体験したラフティングが非常に楽しかったです。川の流れの早いところではひっくりかえってしまうのではないかと思うところもありましたがみんなで力を合わせて乗り切れました。ラフティングに使った川は、北海道の川で2番目にきれいな川でした。ライフジャケットを着て楽しかったです。とくにしんどかったのがへそおどりです。おなかに、かっこいい顔をかいて、1時間ずっとおどりをおどっていたからつかれました。ホームステイ先のはやとくんとすぐに仲よくなれました。お家の方にもよくしていただきふだんのぼくの家にいるようでした。あさひ山動物園でオオカミがいて、かんばんがありそこには、「オオカミを見れたらラッキー」とかいてあって、残念ながら見れませんでした。最後にホームステイでは貴重な経験をたくさんさせていただき感謝の気持でいっぱいです。おせわになったみなさまありがとうございました。

大瀬良　憲二 君

北海道の思い出

飛行機で北海道に行きました。北海道につくと、富良野の会長さんたちが、出むかえてくれました。一日目のばんご飯は、バーベキューでした。おいしいのでいっぱい食べました。

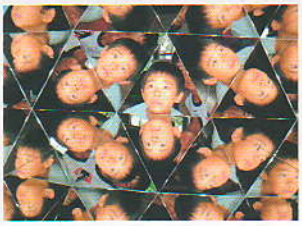
二日目は、旭山動物園に行きました。いろんな動物を次々に見れたので、楽しかったです。その後、万華鏡を作りました。キラキラしているのや、大きいのや、ざらざらのを入れて作りました。思ったよりうまくできて、うれしかったです。

三日目は、楽しみにしていたラフティングです。自然学校で、淡路島に行った時、カッター研修があったけど、海とは全然ちがって川は、スピードが速くて、とても楽しかったです。いっぱいゆれたりして、岩にもぶつかりました。途中で川に入ったから、こごえるぐらい、寒かったです。

その日の夜に、へそ祭りがありました。まず、おなかに絵を書いてもらいました。それから、おどる練習をしました。へそ祭りはたくさんのチームが、参加していました。見てる人も、いっぱいいたので、ちょっとだけ、きんちょうしました。4周したので、けっこうつかれました。

ホストファミリーの颯斗君とも、だんだん仲良くなれました。

あっというまの4日間だったけど、とても楽しかったです。いろんな経験をさせてもらってありがとうございました。



村井　日向子 さん

私は、出発の27日までずっとワクワク、ドキドキしていました。ホームステイ先の人はどんな人かな?、北海道はどんな所なんだろう?とか考えていました。富良野市は西脇市と比べて気温が10℃低いと聞いていました。着くと本当に涼しくてとても驚きました。

ホームステイ先では、毎朝手作りのおいしい食事を頂いたり、楽しい話をさせていただきました。初めてのラフティングはゴツゴツした岩がたくさんあり、ハラハラしました。最後に数人で川に飛び込んだのですが、水がとても冷たくて驚きました。へそ祭りでは、顔にペインティングをし、気持ちを盛り上げて参加しました。踊っている人たちの熱気や自信、がんばりがとても伝わってきました。私はこういう大きなお祭りは初めてで、とてもドキドキしました。

富良野市と西脇市では大きな文化や日常の違いがあり、それを実感する機会がありました。富良野市と西脇市のライオンズクラブの方々には、その機会を大いに与えてくださいました。ホームステイ先の方々は、私たちを温かく出迎え、送り出していただきました。

今回のホームステイでいろいろなことを体験させていただき、ありがとうございました。今回の体験を今後の生活に役立たせていきたいです。お世話になった全ての皆様方、大変ありがとうございました。

ゾーン幹事の一言

ゾーン幹事　L 平田　滋

ゾーン幹事は、地区ガバナーの運営方針にもとづいたアクティビティ、依頼、報告事項等をゾーンチェアパーソンL松原義紀の指揮のもと、地区の調和を図りながら各クラブに諮問委員会を通じて伝達する役と認識しています。

ただし「ゾーン幹事」は他ゾーン・クラブには存在せず２Ｚ特有のポジションです。具体的には諮問委員会はゾーンチェアパーソン、地区委員、クラブ会長、幹事、会計、ゾーン幹事の17名で構成され年間４回、ゾーンの幹事会を年間５回召集し両会共各クラブ毎にホストを務めゾーン幹事が司会進行し、議事録、会計を兼務し順次開催する。したがって審議事項等の関係もあり流れはキャビネット会議→幹事会→諮問委員会→各クラブ理事会の順での開催が理想です。

現時点では第１回諮問委員会がホストクラブ中ライオンズクラブのもと、無事終了し安堵しています。先は長いですが引き続きがんばります。

祝!西脇工業高等学校 夢の甲子園へ

「結成51周年を迎えて」

地区名誉顧問　L 在田　一雄

振り返りますと、半世紀を過ぎました。たくさんの皆さんに、長い間随分お世話になったという感謝の思いが真っ先に胸にみなぎって参ります。心から御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

さて、半世紀の間の思い出は色々あるわけですが、西脇ライオンズクラブは、北海道の富良野と姉妹提携をしましたが、この姉妹提携をする前にアメリカのレントンライオンズクラブと姉妹提携を取り交わしました。レントンライオンズクラブのことを思いますと、色々な思い出が浮かび上がってきます。現在は、西脇商工会議所で例会を行なっていますが、現在のみなと銀行がある場所にあった太陽神戸銀行の２階ホールにおいて例会を行なっておりました。随分昔のことですが、姉妹提携を結んだレントンライオンズクラブから多くの方に訪れていただきました。その中に、一人のご婦人がいらっしゃいました。そのご婦人は、現在の事務局としてお世話になっている内橋さんと同じような仕事をされていました。内橋さんは非常に若いですが、その方は80才でした。そのご婦人の手を引いて会場内に入ってきたのが、現会員L西脇のお父上でした。彼は、照れ隠しもあったのでしょうが、彼女について「こんな別嬪は見たことが無い」と紹介しました。そこで、私はそのことを彼女に英語で伝えました。すると彼女は大変に喜んで、速攻のキスをしたんです。西脇さんにですよ。私ではありませんよ。また、レントンに市長と一緒に伺った時に、杉の苗木を持っていきました。ところが、税関で植物検疫の理由で足止めをされそうになりました。私は、「これは、レントンライオンズクラブと姉妹提携している日本の西脇ライオンズクラブメンバーで、この苗木はレントンの公園の広場に植えるために持ってきたんです」と職員に伝えました。すると、態度が一変「OK！OK！どうぞ通ってください」無事に植えることができたその苗木は、現在見上げるような大きさに育っています。たくさんあるレントンとの思い出の一部です。レントンライオンズクラブとは、お互いに思いを通い合わせつつ、深い交流を行なっておりました。

私は1983年7月から1984年6月の間、335−D地区のガバナーを務めさせていただきました。当時は、地区の事務局を姫路に置く習わしになっていましたが、私は地元の西脇市に事務局を開設したかったため、当時の西脇市長にお願いをして市役所の南館の一室をお借りして事務局を開設しました。また、ガバナーとして各クラブの例会を訪問するわけですが、その際に複数のクラブが合同で例会を開催するいわゆる合同例会ですが、私は個々のクラブの例会に訪問し、心の通い合った話し合いをしたかったので、地区内の全クラブの例会を訪問しました。当然、同じ日時に例会を開催するクラブもありました。その場合は、例会開始時間を変更してもらいました。そして、全てのクラブと素晴らしい交流をさせていただけたのです。その時のキャビネット幹事は故L増本喜正さん、会計は故L正木光廣でした。このお二人はもちろん、各クラブの皆さんにもお世話なってガバナーの職責を全うすることができたのです。このように国内外においての多くの思い出が、この半世紀の間にあります。今から新たしい半世紀を迎えるわけですが、変わらぬ皆さんのご支援をいただきながら、楽しい例会を開催できる西脇ライオンズクラブの一員として、一緒に進んで参りたいという思いを深くしております。これからも皆さんのご支援をいただきますよう、心からお願いをいたしますと共に今までのお礼を申し上げまして、私の51年目を迎えた感想といたします。

どうも、ありがとうございました。

編集人　ライオンズクラブ国際協会 335-D地区 3R2Z
西脇ライオンズクラブPR情報委員会
編集担当　河原　淳・藤原雅彦・藤田幸三・高橋博久・徳岡武義・村上昭三

事務局　〒677-0015 兵庫県西脇市西脇990　西脇商工会議所内
TEL.0795-25-0711　FAX.0795-22-8739
E-mail:n-lions@io.ocn.ne.jp
URL:http://nishiwaki.lions-c.net